

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間：2023年6月～2024年5月



発行日：2024年7月4日



足立建設株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
2. 実施体制	2
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営目標の実績と評価、次年度の取組み内容	5
6. 環境活動計画の評価	6
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	7
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果	8
9. 活動の紹介	9～11

1.組織の概要

①事業者名、代表者名など

足立建設株式会社

代表取締役 足立 正人

②所在地

本社 〒879-6641

大分県 豊後大野市 緒方町 草深野690番地

③環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者 工事部 取締役

担当者 総務部 職員

連絡先 電話 0974-42-3471

FAX 0974-42-4154

メール adachi-office@adachik.co.jp

④事業内容

・建設業

建設業許可 大分県知事 許可（特－4）第1908号

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業

舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業

解体工事業

建設業許可 大分県知事 許可（般－4）第1908号

建築工事業、管工事業、造園工事業

⑤事業規模

活動規模 単位	第55期 2022-2023	第56期 2023-2024
工事件数 件	17	21
売上高 百万円	232	228
従業員数 人	14	14

⑥事業年度

期首 6月～期末 5月

⑦対象範囲

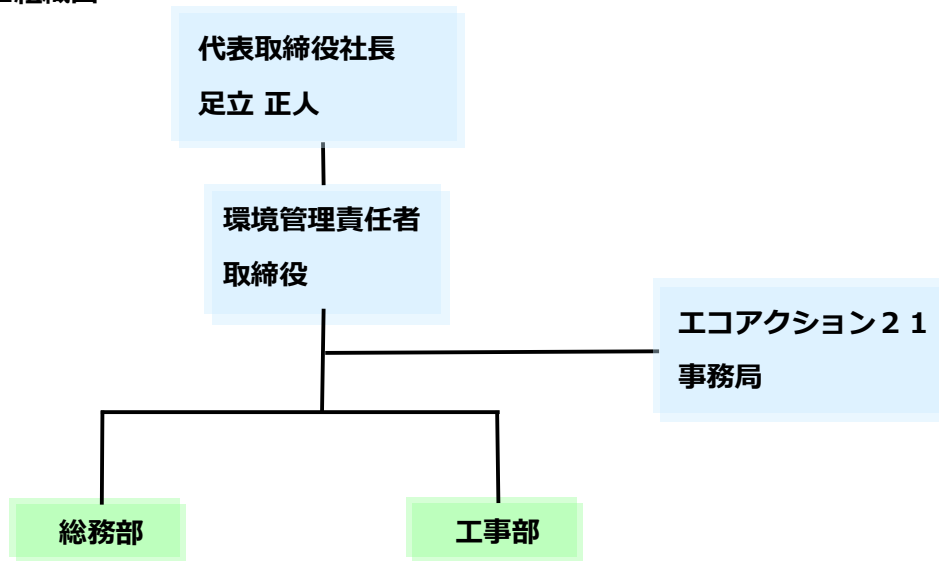
全組織・全活動

・事業所－本社

・事業活動－土木工事業、 舗装工事業

2.実施体制

①EA21組織図



②EA21役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21事務局の責任者 ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価（工務部） ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処置の承認 ・環境活動レポートの確認
事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価（総務部） ・環境活動レポートの作成 ・環境目標、環境活動計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などを環境管理責任者に報告する
部門長	・自部門における環境活動の計画、実施、目標達成状況を事務局に報告する ・自部門の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する ・苦情への対応
全従業員	・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

3.環境経営方針

■基本理念

建設業では、温室効果ガスである二酸化炭素の削減や、資源の有効利用・再利用が、多様で豊かな地球環境を保全し未来に引き継いでゆくための重要な課題となっています。

当社としても建設活動における環境負荷の低減に努めながら「信頼と満足」を得られる品質の提供をめざし、全社員一丸となって自主的・積極的に環境保全への取組みを進めてまいります。

■行動指針

1具体的に次の事に取り組めます。

- ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。
- ②建設資材の省資源、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する。
- ③水資源を大切にするため節水に努める。
- ④環境に配慮した工事を実施する。
- ⑤事業所周辺に清掃活動を推進する。

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営システムの継続的な改善に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3.この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

制定日：2023年3月1日

足立建設株式会社

代表取締役 足立 正人

4.環境経営目標

各年度の対象期間は、6月～翌年5月

環境方針 の番号	選択課題	基準年度 2021年度実績	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
1	二酸化炭素排出量 (CO ₂ 排出量)	182,347 k g - CO ₂	180,523 基準年度比 △1%	178,700 基準年度比 △2%	176,876 基準年度比 △3%
1-1	電力消費量 (電気使用量)	16,656 k W h	16,489 基準年度比 △1%	16,323 基準年度比 △2%	16,156 基準年度比 △3%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量)	7,599 ℓ	7,523 基準年度比 △1%	7,447 基準年度比 △2%	7,371 基準年度比 △3%
1-3	軽油消費量 (軽油使用量)	60,638 ℓ	60,032 基準年度比 △1%	59,426 基準年度比 △2%	58,819 基準年度比 △3%
2	産業廃棄物再利用	リサイクル率100%	リサイクル率100%		
3	一般廃棄物の削減	紙ゴミ 235 kg	230	225	220
		空き缶・ペットボトル 68 kg	65	62	59
4	水使用量削減		節水シールを貼り意識を喚起する まとめ洗いの励行		
5	環境に配慮した工事 を実施する		環境経営計画 による実行管理		
6	社会貢献への参加		地域の清掃活動やボランティア参加 1回		

電力のCO₂排出係数は、九州電力調整後係数 2021年の0.385kg-CO₂/kWhを使用。

灯油・LPGは数が少ないために目標に設定せず、日常活動で管理をしていく。

CO₂の排出量は、灯油とLPGを含めて管理する。

井戸水使用のため数値の測定はしていない。

5.環境目標の実績と評価、次年度取組内容

対象期間：2023年6月～2024年5月

評価基準：○100%以上 △90%以上100%未満 ×90%未満

環境方針番号	選択課題	基準年度 2021年度	2022年度 実績	2023年度目標 基準年度比 △2%	2023年度 実績	目標 達成率	評価
1	二酸化炭素排出量 (CO2排出量) kg-CO2	182,347	131,393	178,700	118,052	151%	○
	評価と次年度の取組内容	・二酸化炭素排出量は対象期間において目標達成となった。二酸化炭素排出量の80%を占める軽油の大幅な目標達成が主な要因と考えられる。次年度も軽油消費量の目標達成を最重要とする。					
1-1	電力消費量 (電気使用量) kWh	16,656	14,503	16,323	14,806	110%	○
	評価と次年度の取組内容	・電力消費量は対象期間において目標達成となった。 ・月平均127kwh以上の消費量で目標未達になってしまうので、引き続き節電に取り組む					
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量) ℓ	7,599	6,711	7,447	6,643	112%	○
	評価と次年度の取組内容	・ガソリン消費量は対象期間において目標達成となった。 ・比較的遠方の作業場や不定期な道路維持作業があったにもかかわらず、目標達成できたことは評価できる。しかし、月平均67ℓで目標未達になってしまう。これまで以上に燃費を意識した運用の周知徹底を図る。					
1-3	軽油消費量 (軽油使用量) ℓ	60,638	42,459	59,426	37,012	161%	○
	評価と次年度の取組内容	・軽油消費量は対象期間において目標達成となった。 ・エコドライブやアイドリングストップ、効率の良い作業手順で引き続き削減に努める。特に軽油は二酸化炭素排出量の増減に占める割合が大きいため最重要課題と位置づける。					

電力のCO2排出係数は、九州電力 2021年の調整後係数0.385を使用。

評価基準：○できた ×できなかった - 期間内事由未発生

環境方針 番号	選択課題		基準年度 2021年度	2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	評価
2	産業廃棄物		リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	○
	評価と次年度の取組内容		・2023年度の年間廃棄物排出量は500tであり、リサイクル率100%であった。 ・年間廃棄物排出量は基準年度との対比で24%の増となった。As・Co塊の排出増が主な要因となっており、切削をとまなう舗装工事の発注増によるものと思われる。 ・分別廃棄の取り組みを引き続き徹底して行い、再資源化に努める。				
3	一般廃棄物の削減	紙ゴミ (kg)	235	202	225	213	○
		空き缶・ペットボトル (kg)	68	40	62	38	○
	評価と次年度の取組内容		・2023年度の年間一般廃棄物は紙ゴミ（シュレッダー）、空き缶・ペットボトルともに目標達成となった。 ・分別廃棄の取り組みを引き続き徹底して行い、再資源化に努める。				
5	環境に配慮した工事の実施			実施した	実施する	実施した	○
	評価と次年度の取組内容			・国土交通省指定の排出ガス対策型建設機械の使用により環境に配慮した工事を実施できた。 ・旧式の建設機械1台を2020年燃費基準100%達成建設機械へ変更した。今後も環境性能と低燃費を両立したハイブリッド型建設機械あるいは電動化建設機械の導入を検討する。			
6	社会貢献への参加			地域の清掃活動や ボランティア参加2回	地域の清掃活動や ボランティア参加1回	地域の清掃活動や ボランティア参加3回	○
	評価と次年度の取組内容			・6月30日に『小規模集落応援隊』のボランティア活動に参加 ・7月7日に師田原ダムの除草作業に参加 ・7月24日に犬飼の除草作業に参加			

6.環境活動計画の評価

○：できた △：改善の余地あり ×：できなかった

	環境 方針 の番号	目標課題	具体的な行動（活動）	事務所	現場
二 酸 化 炭 素 排 出 量 削 減	1-1	電力消費量削減	1. 冷暖房設定温度の厳守（夏26℃冬22℃）	○	—
			2. OA機器の退社時電源OFF	○	—
			3. 空調機フィルターの清掃	○	—
			4. 不必要箇所の消灯	○	—
			5. 節電シールを貼り意識を喚起する	○	—
	1-2	ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進	○	○
			2. アイドリングストップの励行	○	○
1-3	軽油消費量削減	1. エコドライブの推進	○	○	
		2. アイドリングストップの励行	○	○	
廃 棄 物	2	産業廃棄物の再利用	1. 産業廃棄物のリサイクル率100%	—	○
	3	廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別	○	○
			2. コピー用紙の裏側使用の推進	○	—
資 源 の 有 効 利 用	4	水使用量削減	1. 節水シールを貼り意識を喚起する	○	—
			2. まとめ洗いの励行	○	—
	5-1	環境に配慮した工事	1. 水質汚濁・土壌汚染の防止	—	○
			2. 騒音・振動の抑制	—	○
			3. 産業廃棄物の削減・再資源化	—	○
			4. ICT施工の推進	—	○
			5. 低騒音・低排出ガス・省エネ建設機械の使用	—	○
	5-2	グリーン購入の推進	1. エコマーク、グリーンマーク商品の購入推進（随時）	○	○
2. 再生紙の購入推進（随時）			○	○	
3. 購入時のグリーン購入の検討（随時）			○	○	
	6	社会貢献への参加	1. 所属団体や公共機関のボランティア参加	○	

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

関連法規法令違反はありませんでした。 また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。

遵守評価 ○：できた △：改善の余地あり ×：できなかった -：期間内事由未発生

法規制等	適用内容	対象設備、施設	遵守事項（法規制/自主規制）	実施時期	遵守評価	遵守評価者	遵守評価日	備考
廃棄物処理法 （排出事業者）	産業廃棄物の保管	産業廃棄物置場	1. 表示板の設置	設置時	○	環境管理責任者	R6.6.3	
			2. 保管状況確認	1回/月（確認）	○	環境管理責任者	R6.6.3	
	委託契約書	委託業者	1. 委託契約書（書面）	契約時	○	環境管理責任者	R6.6.3	
	マニフェスト伝票管理	委託業者	1. マニフェストの発行、管理	処理委託時	○	環境管理責任者	R6.6.3	
			2. 各票の受領確認	発行後	○	環境管理責任者	R6.6.3	
	産業廃棄物の運搬	運搬作業	1. 産業廃棄物運搬の表示	運搬時	○	環境管理責任者	R6.6.3	
			2. マニフェスト伝票の携帯	運搬時	○	環境管理責任者	R6.6.3	
	産業廃棄物管理票交付等 状況報告	産業廃棄物	1. マニフェスト伝票の集計 （4月～翌年3月の1年分） 2. マニフェスト伝票の携帯 （同年4月～6月に届出）	1回/年 1回/年	○ ○	環境管理責任者 環境管理責任者	R6.6.3 R6.6.3	
建設リサイクル法	対象工事の届出 対象工事に係る分別、再資源化の実施	土木工事資材	1. 土木工事に係る分別、再資源化の実施	対象工事実施時	○	環境管理責任者	R6.6.3	施工計画書で確認
			2. 再資源化完了の書面報告	検査時	○	環境管理責任者	R6.6.3	施工計画書で確認
騒音規制法	土木工事における騒音規制の遵守	特定建設作業	1. 規制基準に従った施工方法の実施	対象工事実施時	○	環境管理責任者	R6.6.3	施工計画書で確認
			2. 適切な工事時期の設定	対象工事実施時	○	環境管理責任者	R6.6.3	施工計画書で確認
振動規制法	土木工事における振動規制の遵守	特定建設作業	1. 規制基準に従った施工方法の実施	対象工事実施時	○	環境管理責任者	R6.6.3	施工計画書で確認
			2. 適切な工事時期の設定	対象工事実施時	○	環境管理責任者	R6.6.3	施工計画書で確認
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫の適切な廃棄	テレビ・冷蔵庫	1. リサイクル料支払い（発生時のみ）	支払い時	—	エコアクション事務局	R6.6.20	当社で指定所へ運搬
			2. 廃棄時の適正処置（発生時のみ）	廃棄時	—	エコアクション事務局	R6.6.20	当社で指定所へ運搬
PCリサイクル法	PC・周辺機器使用	パソコン類	1. 廃棄時の適正処置（発生時のみ）	廃棄時	—	エコアクション事務局	R6.6.20	当社で指定所へ運搬
自動車リサイクル法	公用車の適切な廃棄	公用車	1. リサイクル料支払い（発生時のみ）	支払い時	—	エコアクション事務局	R6.6.20	ディーラーへ依頼
			2. 廃棄時の適正処置（発生時のみ）	廃棄時	—	エコアクション事務局	R6.6.20	ディーラーへ依頼
フロン排出抑制法	業務用エアコンの廃棄 （フロン使用）	業務用エアコン 室外機 （フロン使用）	1. 定期点検の実施（3ヶ月毎）	適時（3ヶ月毎）	○	エコアクション事務局	R6.6.28	管理責任者（点検者）
			2. 廃棄時の適正処理（発生時のみ）	廃棄時	—	エコアクション事務局	R6.6.20	専門業者へ依頼
			3. 処理委託書提出、処理報告書の受理	廃棄時	—	環境管理責任者	R6.6.20	専門業者へ依頼
浄化槽法	浄化槽の適切な使用・清掃・点検	浄化槽	1. 定期検査の実施	年1回	—	エコアクション事務局	R6.6.3	大分県環境管理協会
			2. 定期点検の実施	3ヶ月に1回	○	エコアクション事務局	R6.6.3	豊肥環境センター
			3. 定期清掃の実施	年1回	—	エコアクション事務局	R6.6.3	豊肥環境センター
消防法	地下タンク（軽油・ガソリン）	給油スタンド	1. 日常の漏洩点検	週2回	○	エコアクション事務局	R6.5.31	自社記録表（メーター目視確認）
			2. 1年1回の消防署検査	年1回	○	エコアクション事務局	R6.5.31	実施を確認
			3. 3年1回の漏洩検査（法定検査）	3年に1回	—	エコアクション事務局	R6.5.31	友忠商事に確認 （2024年7月実施予定）
	作動油：6000×1/5=1200ℓ （200×6本以内）	倉庫	1. 規定保管数量の遵守 （超える時は保管所設置義務）	購入・保管時	○	環境管理責任者	R6.5.31	
			2. 漏洩点検	保管時	○	環境管理責任者	R6.5.31	
			3. 5Sの実施	使用時	○	環境管理責任者	R6.5.31	

8.代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	足立建設株式会社
見直し実施日	2024年 6月28日（金）
出席者	・ 代表者 足立 正人 ・ 環境管理責任者 ・ 事務局 1 名

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1. 環境関連法規等の遵守状況確認結果	特に問題はなかった	問題なし
2. 環境目標の達成状況	すべての項目で目標が達成できた	来年も目標達成となるよう活動を行うこと
3. 環境活動計画の実施状況	特に問題はなかった	継続する
4. 問題点の是正、予防の状況	貯留設備の清掃を入念に実施した	継続する
5. 外部からの苦情の有無及び対応結果	苦情は1件もなかった	問題なし
6. 環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	訓練を実施し、手順を確認した	問題なし
7. その他	特に報告事項はなかった	問題なし

代表者の所見

- ・エコアクション21の実施初年度として環境目標の達成ができたことは評価したい。
- ・各現場においても環境に配慮しながら法令順守で業務を遂行できたと感じている。今後も改善や工夫を重ねながら環境目標の達成を目指す。
- ・環境経営方針を全社員の周知のもと、次年度も設定した環境目標を達成できるようEA21を推進していく。
- ・現在、合併浄化槽への変更や水漏れの対策として配水管の新規敷設に取り組んでおり、水や環境に良い職場の実現を目指している。

見直しの必要判断と	①環境方針	継続する
	②環境目標	来期は目標を継続するが、更新審査時に目標値設定について精査する
	③環境活動計画	継続する
	④実施体制	継続する
	その他の指示	エコアクション21への取り組みについて定期的な教育を行う

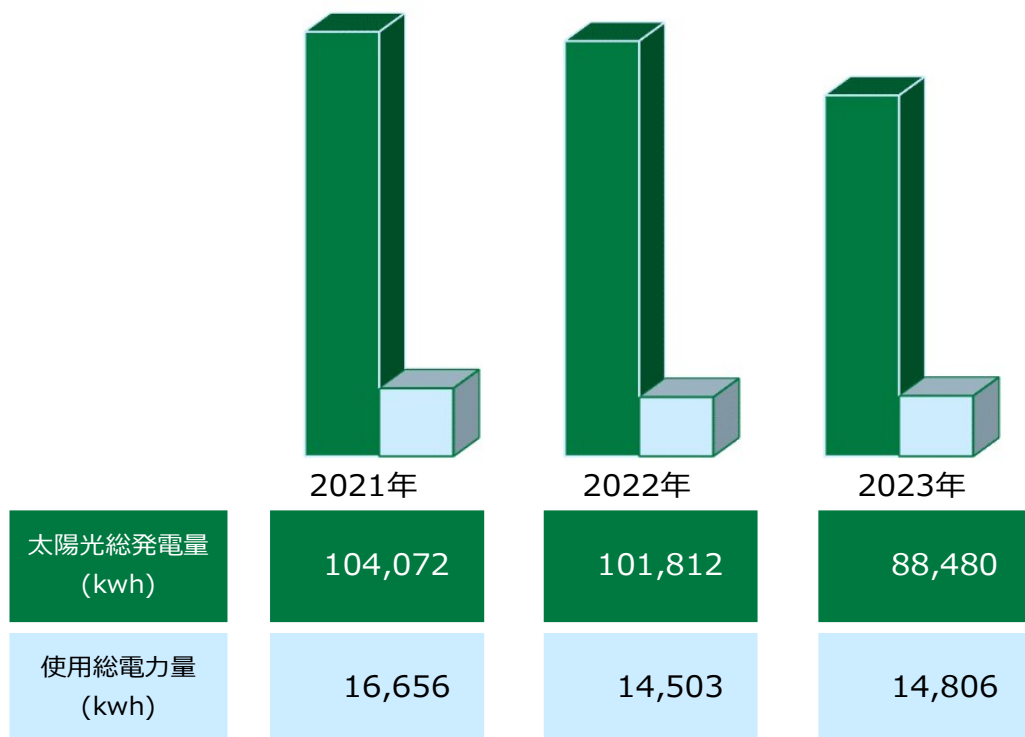
9.活動の紹介

① CO2排出量削減

太陽光発電（事業所敷地内）



太陽光発電 年間発電量



事業所・建設現場で年間に使用する電力量の約6～7倍にあたる電力を太陽光発電している

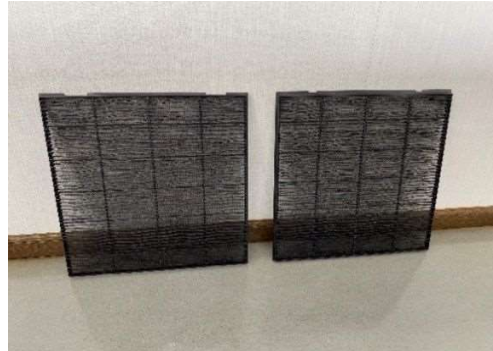
9.活動の紹介

② 分別活動・節電の推進

缶・ペットボトル・ビン・不燃物の分別



エアコンフィルター清掃



③ 地域へのボランティア活動 （小規模集落応援隊 朝地町：田夫時地区）



④ 大分県盲人協会 『愛のともしび運動』 使用済み切手の回収・寄贈



9.活動の紹介

⑤ ICT施工と低騒音・低排出ガス・省エネ建設機械の導入



⑥ 5 Sの実施

足立建設の5S活動の取り組み

The flowchart consists of five colored boxes arranged horizontally, each representing a step in the 5S process:

- Red box (整理):** Icon of a person throwing trash. Text: 不要なものを捨てる。必要なものだけが残る。
- Blue box (整頓):** Icon of various tools. Text: 必要なものを再配置・表示する。
- Yellow box (清掃):** Icon of a broom and bucket. Text: 点検・保守活動。
- Green box (清潔):** Icon of a person cleaning a surface. Text: 整理・整頓・清掃を守り維持する。
- Purple box (躰):** Icon of three people. Text: 全員でルールを守る。